

# J R 総連通信

2022年3月11日 No.1527

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

## 「東日本大震災から11年」

### 3月11日14時46分・黙とうを捧げる



JR総連は、東日本大震災から11年目となった3月11日、震災発生時刻である14時46分に黙とうを捧げました。

東日本大震災では、1万5,900人が亡くなり、2,523人が行方不明となっています。また、岩手県・宮城県・福島県からの県外避難者は、今もなお3万829人となっています。

JR総連は、東日本大震災から10年目を迎えた昨年、福島第一原発事故により帰宅困難地域に指定されている被災地をはじめとした現地踏査を、JR東労組仙台地本やJR東労組盛岡地本の仲間とおこないました。

また、「JR総連2022年旗開き」では、震災直後から福島第一原発の取材を続けている、東京新聞福島特別支局の片山夏子氏から、進まない廃炉作業や、福島第一原発で被爆しながら過酷な労働環境の下で働いている労働者の実態について講演を受け、改めて脱原発社会をめざし、連帯するすべての仲間と共に運動をつくりあげていくことを全体で確認してきました。

東日本大震災から11年。私たちは、東日本大震災の教訓を今一度確認し、「抵抗とヒューマニズム」を基底に据えて、組合員と家族が安心して暮らせる社会の実現にむけて取り組んでいきましょう！